

# THE NORTH FACE CUP 2020

## 本戦競技ルール

### ■ 予選、準決勝について

#### 予選 各カテゴリー10 課題

- ◆ U-8 【1～10 番】
- ◆ W'sDivision4【3～12 番】
- ◆ U-10・W'sDivision3・Division4(ラウンド 1)・Division5(ラウンド 1)【6～15 番】
- ◆ U-12・W'sDivision2【11～20 番】
- ◆ Division3・Division4(ラウンド 2)・Division5(ラウンド 2)・W'sDivision1・ 【16～25 番】
- ◆ Division2 【21～30 番】
- ◆ Division1 【26～35 番】

#### 準決勝 各カテゴリー8 課題

- ◆ U-8【1～8 番】
- ◆ W'sDivision4【3～10 番】
- ◆ U-10・W'sDivision3【5～12 番】
- ◆ Division5【7～14 番】
- ◆ U-12・W'sDivision2・Division4 【9～16 番】
- ◆ Division3・W'sDivision1 【13～20 番】
- ◆ Division2 【17～24 番】
- ◆ Division1 【21～28 番】

1. 各カテゴリーの競技タイムスケジュールで指定された時間内に課題（コース）をトライしていき、完登した課題数で順位を決定します。課題数は各カテゴリー予選 10 課題・準決勝 8 課題です。競技エリアは仕切られており、好きなエリアに並んでトライできます。\*競技時間はカテゴリーにより異なります。
2. 課題のスタートホールドには番号が付いており、各カテゴリーで指定された番号の課題を登ります。各カテゴリーのトライする課題番号は、大会会場と本戦ルール要項内に出されます。事前にご確認下さい。
3. スタートの条件は課題テープで囲われた&棒テープが張ってあるホールドに、棒テープに合わせて手足（手は手首より先、足は足首より先）の 4 点を置いた状態でスタート。その他、条件付きの課題があった場合必ず取り付きに表示してあります。会場によっては、課題を同一カラーホールドで作ってあり、テープはスタート・Z1・Z2・TOP のみ張っている場合があります。課題についての不明点は競技開始前にスタッフへお尋ねください。。また、上記の会場においてテープの印すホールドが 2 つ以上接しているホールドは全てを 1 つのホールドとみなしますが、ハリボテにホールドがついて、そのホールドに直接テープを印している場合は、ハリボテを保持しても有効となりません。テープの印しているホールドを保持して有効となります。
4. 完登は TOP の表記をしてあるホールドを両手で保持した時に有効となります。  
\*必ずジャッジに完登の OK を確認してからお戻りください。ジャッジの確認が取れていない場合は、完登とみなされません。ゾーンポイント（課題の中間ポイント\*Z と表記）はゾーンがついているホールドを保持した時のみ有効です。（タッチや振られ落ちの場合認められません。）ゾーンポイントには Z①と Z②があり、Z①を使わずに Z②を保持した場合は、Z①も保持したことになります。完登した場合は、Z①と Z②を保持したことになります。なお、保持については TNFC2020 からオリジナルルールとして、ホールドの一部を静止して指で触る状態をつくることができたら、保持とみなします。
5. 大会結果をリアルタイムに表示するため、ジャッパーパーを使わずに競技を行います。受付の際に配布されるゼッケンを衣服に張り付けての競技となります。競技時は各エリアのジャッジにゼッケン番号とトライする課題番号を伝えてから登ってもらいます。初日の予選に使用したゼッケンは翌日新たにゼッケン（番号同じ）を配布致しますので競技終了後にはがしてしまっても大丈夫ですが、Division4、5 のみ 2 ラウンド制になっているので、ラウンド 2 進出者はラウンド 2 の競技が終わるまでゼッケンをはがさないで下さい。

6. ジャッジに間違いがある場合は競技中（**登り終わった後は、必ずジャッジの結果を確認してから別エリアへ並んでください。**）もしくは、次の競技が始まるまでにジャッジまで申告して下さい。時間がたってからの申告は無効となります。ジャッジの判定結果は、WEB上に掲載されます。会場内モニター、または、WEB閲覧可能なご自身の端末で確認できます。
  
6. 抗議は競技終了後の 5 分間のみ受け付けます。抗議受付は受付エリアにてお受けします。それ以降の抗議は無効となります。（動画など証拠を提出しても事後抗議は無効とします）
  
7. 順位は完登数の多い順番で決まります。完登数が同じ場合は Z②の数で順位をつけます。さらに同着の場合は、Z①の数で順位をつけます。
  
8. 競技の制限時間内に壁にとりついている（スタートしている）場合は、最終トライは有効となります。
  
9. エリア間の境界線テープを越えて足を壁にスマアリングすることは OK ですが、境界線を越えて手や足でカンテ・凹角を使用することは禁止致します。また、壁の形状（カンテ、凹角）を使うことは OK ですが、壁の末端を使うことは禁止致します。リップも指定された（テープの張られた部分）場所以外使用できません。ハリボテ（形・素材は様々）は、コースで使用しているカラーホールドと同一カラーの場合、またはコーステープが貼ってある場合のみ使用可能です。その他、取り付きに表示がない場合手足がふれることを禁止致します。デマケーションテープが張ってある場所から、手足が出て壁に触れたり使用することは禁止です。＊コースとデマケーションテープの色は会場によって異なる場合がございます。大会当日ご確認ください。
  
10. トライしている課題以外のホールドを使ってはいけません。間違って使用してしまったり触れてしまった場合、使用前のポジションに戻れたときは、競技をそのまま続行できます。戻れなかった場合は、そのトライを中断してください。その時点での高度まで有効となります。
  
11. 競技前や競技中は、課題のスタートホールド以外触ってはいけません。
  
12. クリーニングはジャッジに声をかけてブラッシングしてもらってください。

また、ご自身でブラッシングしたい場合はジャッジに声をかけてブラッシングしてください。

13. 壁のボルト穴を手で使用することは禁止と致します。
14. 競技中にホールドの破損又は回転などそのエリアが競技ストップしてしまった場合は、1回につき全体の競技時間を最大5分延長とさせて頂きます。ホールド破損時にその課題をトライしていた本人を最優先で競技再開とさせて頂きます。
16. ホールドが破損した場合、代替りのホールドを用意いたします。  
チーフセッターの判断の元、コースの変化がない適したホールドを用意いたします。
17. 予選通過人数は上位順で以下になります。  
U-8 (15位まで)、U-10(15位まで)、U-12(15位まで)  
Women's Division4(10位まで)、Women's Division3(10位まで)  
Women's Division2(10位まで)、Women's Division1(20位まで)、  
Division5 ラウンド1(30位まで)・ラウンド2(10位まで)  
Division4 ラウンド1(30位まで)・ラウンド2(10位まで)  
Division3(15位まで)、Division2(15位まで)、Division1(20位まで)
18. 翌日の準決勝で同着が出た場合は、本戦予選の結果をもとに順位を確定します。  
(準決勝結果に反映される)\*Division4、5のみ予選ラウンド1.2ともに反映されません。
19. 全クラス準決勝終了後、正式に決勝進出者を発表致します。  
名前を呼ばれた方はすみやかに指定したアイソレーションルームに移動して頂きます。アイソレーションクローズの時間は決勝進出者発表の際にお知らせします。クローズの時間になって現れない選手は失格となる可能性があります。  
また、アイソレーション内へトレーナーの同行は可能ですが、選手同様にアイソレーション内へ入った場合は、自由な出入りはできません。アイソレーション外へ出た場合は、再入場はできませんので予めご了承ください。

## 決勝について

- 1、決勝ラウンドは Division1/Women'sDivision1 のみサドンデス方式。  
Women'sDivision1・Division1 以外は決勝オンサイト方式(1 課題のみ)となります。  
決勝定員は準決勝結果の上位順で、  
U-8 (3 位まで) 、U-10(3 位まで)、U-12(3 位まで)  
Women'sDivision4(3 位まで)、Women'sDivision3(3 位まで)、  
Women'sDivision2(3 位まで)、Women'sDivision1(6 位まで)、  
Division5(3 位まで)、Division4(3 位まで)、Division3(3 位まで)、  
Division2(3 位まで)、Division1(6 位まで)
- 2、サドンデス方式とは(例)1 ラウンド 6 名→2ラウンド 4 名→3ラウンド 2 名→優勝  
以上のようにラウンドが進むにつれて人数が減っていきます。  
(各ラウンドの上位が次のラウンドへ)最終的には2人で対一の勝負となって優勝を決めます。
- 3、 決勝のオブザーベーションタイム 1 分間(各カテゴリーごとに)競技時間は2分。  
Division1/Women'sDivision1 のみ競技時間は 3 分となります。
- 4、 競技時間内なら何度でも挑戦可能です。制限時間内に壁にとりついている場合はそのトライは有効となります。  
到達高度が一番に優先され、到達高度が同じ場合はトライ回数で順位を決め、上位者が次のラウンドに進出(または優勝)。  
到達高度にはホールドを保持した場合の「ノーマル」と、次のホールドを保持するために確実な動きをした場合の「プラス」があります。
- 5、 Women'sDivision1・Division1 以外のカテゴリーは、決勝ラウンドで同着の場合、準決勝結果をもとに順位を確定します。準決勝の順位も同着の場合は、さらにもう一つのラウンド(スーパーファイナル)で競技をおこないます。  
スーパーファイナルで同着の場合は、同着での表彰となります。  
Women'sDivision1・Division1 以外のカテゴリーは完登の場合でもトライ回数・準決勝結果が反映されます。
- 6、 Women'sDivision1・Division1 のカテゴリーは、決勝 1 ラウンド目で同着の場合、準決勝結果をもとに順位を確定します。  
2・3 ラウンド目で同着の場合は前ラウンド結果をもとに(2ラウンド目の場合は、

1 ラウンド目の結果を優先し、さらに同じ場合は準決勝結果から。  
3ラウンド目の場合は、2ラウンド目の結果→1 ラウンド目の結果→準決勝の結果)  
順位を確定します。  
また、完登の場合のみトライ回数・準決勝・前ラウンド結果に関係なく結果は  
TOPとなり、次のラウンドに進出できます。  
上記の全てが同着の場合は、さらに4ラウンド目(スーパーファイナル)で  
競技をおこないます。  
スーパーファイナルは完登の場合もトライ回数が反映されます。同着の場合は、  
ラウンドをさかのぼってカウントバックでの表彰となります。